

## 日米合同軍事演習反対

6月27日、高島市内で『ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会』は合同演習実施に反対する集会を開催しました。会場と Web 併用で開催、100人余りの参加でした。

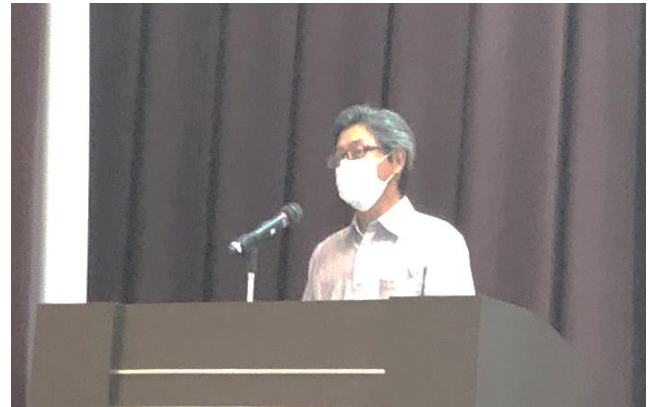
合同演習中の6月23日、陸上自衛隊は実弾演習を行い、120mm迫撃砲弾を演習場外に落下させるという甚大な事故を起こしました。火薬量を間違えた公表したわけですが、この間同様のことが続いていることも鑑みれば、安全対策があまりにお粗末で人命軽視の演習であると言えます。



今、日本政府がしなければいけないのは新型コロナ感染拡大の脅威に立ち向かうことです。ひとりの命も救えない軍事演習はやめ、アメリカ製兵器の爆買いもやめ、オリンピックもやめてコロナ対策に回すことです。

『軍事費削って、医療福祉教育に回せ、コロナ対策に回せ』このスローガンが今ほど世論の共感を得られる時はありません。大義は私たちにあります。元気よく意気高く運動を進めましょう」と挨拶しました。

(写真右上)



このことも併せ、強く抗議をする集会になりました。あいさつでふるさと連の岡本恭治代表（県労連議長）は「オリエントシールド、東洋の盾、つまり日本列島が盾になってアメリカさんを守るというネーミングです。昔、中曽根元首相が、「日本列島を不沈空母にする」と言っていましたが、すでに訓練のネーミングがそうになっています。とんでもないことです。



高島市で農業をしながら平和の活動を行っている方、Webで奄美大島でのたたかい、京都・経が岬でのたたかいなど、現地から連帯の挨拶をいただきました。特別決議、集会宣言を確認しました。そののちデモ行進に出発、商業施設前でスタンディングを行いました。

## 国民平和大行進

国民平和大行進は6月18日から21日まで滋賀県内で取り組まれました。参加者は延べ450人でした。コロナ対応で自治体への申し入れとスタンディングに絞っての地域もありましたが、全自治体を訪問、各地で工夫を凝らし原水爆の禁止、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める力強い取り組みになりました。

岐阜での引き継ぎ、滋賀県庁での集会、京都での引継ぎの様子は県労連事務局のYouTubeチャンネルで観ることができます。ご覧ください。YouTubeで「滋賀県労連事務局」で検索してください。

[https://www.youtube.com/channel/UCi\\_ddZ6MhAkcCsSO2\\_3HcAg](https://www.youtube.com/channel/UCi_ddZ6MhAkcCsSO2_3HcAg)